卒業制作「ボクビデオ」取扱説明書

このたびは京都学園大学メディア文化学科4回生重永聡卒業制作「ボクビデオ」を
ご覧いただき、誠にありがとうございます。
本編再生の前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただければ
より一層お楽しみいただけます。
なお、この「取扱説明書」は再発行いたしませんので、大切に保管ください。

CONTENTS

制作コンセプト・・・２
撮影を始める前に・・・3
画面の見方＆ビデオ上のルール・・・４
キャラクター紹介・・・5
制作者その他作品の紹介・・・８

コンセプト

2008 年秋、私は日に日に迫る卒業制作の期限に怯えていた。
まず、4年間の集大成たるコンセプトをもって制作に臨まなければならないという
最低ラインを自分に課し、何一つ進まないまま時間が過ぎていった。

ある日私は過去の講義のプリントを読み返していた。そこで私の目にとまったのは
「ある〇る大〇典」のねつ造問題に関する記事だった。
この時期は他にもヤラセ問題が話題を読んでいた。
そこで私はひらめいた。

「ヤラセ前提のドキュメンタリーを作ったら面白いのでは？」

ドキュメンタリーという最もヤラセが糾弾されそうなジャンルで公然とヤラセを行えばどうなるか。
ここまで決まった時点で次に出演者を考えた。
事前にタイトルの提出を求められていたのだがそのタイトルが「ボクビデオ」だった。
「ボク」の「ビデオ」なら何にでも該当する汎用性の高いタイトルであるという理由でつけたタイトルだ。
しかし、大まかな内容が決まり、このタイトルに最もふさわしい出演者は私であることは明白だった。

そこで、この時期決してほめられた生活態度ではなかった私を「良い意味で」演出すれば
真っ当な大学生に見えるのではないだろうか、またそういった演出の過程で実際に真っ当な大学生活
を取り戻せたら必ずしも演出、ヤラセが悪いものではないのではないだろうかというメッセージになる。

つまり、この作品は「演出、ヤラセの是非を問うドキュメンタリー風ノンジャンル作品」ということだ。
観賞後の皆さんの考えがどう至るかはわからないが、「くだらない」「コンセプト以前の問題だ」などと
言わず、何かを感じる努力をしていただきたい。

拙い作りの作品ですが、どうぞお楽しみください。

撮影を始める前に

これはあくまで「ドキュメンタリーを装った」作品になるので
事前の大まかなシナリオを用意する必要があった。

※ ここから先は本編の重大なネタバレになります！見たくない方は次のページをご覧ください！

基本的な流れはコンセプトで述べたように私が徐々に規則正しい生活を行えるようになるまでを描く、
しかしそれだけでは何も面白くない。
規則的な生活を行う人間は元々それが当たり前なのでまず無意味に自慢しない。
つまり、日に日に出演者である「私」は、生活リズムの話をせずに恋愛や就職など
「青春らしい」ことに頭を悩ませることにした。
後はどうすればより面白くなるか、それは後々撮影しつつイベントを設定したので
その迷走ぶりを本編でお楽しみいただきたい。（やはり最初からすべて決めておくべきだった・・・）

次に撮影スタイルをどうするか、これは変に形式が出来たドキュメンタリーよりも
「ドキュメンタリーに見せかけた、いち学生の記録ビデオ」に見えるように心がけた。
また、基本的に私の生活を追うことになるので私と寝食を共に出来る人間を探す必要があった。
後輩に頼んだところ、あっさりOKをもらったのでカメラマンに据えた。

これだけで準備が整った気になっていた。実際にこの後撮影に入ったがその後撮影、編集ともに
難航し、苦戦したことをここに追記しておく。

画面の見方＆ビデオ上のルール

まず最初に黒背景に白字で日付が表示されます。

その後ディゾルブで現れる映像がその日の映像ということになります。

この映像が「ボクビデオ」です。

あらかじめ用意されたシナリオを「私」が演じる形で

ドキュメンタリー風に進行していきます。

1日目から6日目まであり、各5分前後全体で30分程で構成されています。

1日目から順を追ってご覧いただくことをおすすめします。

尚、基本的に朝、昼、夜の3部構成になっていますが一部変則的なつくりになっている日もあります。

閲覧手順（例）

（1）　1日目→2日目→3日目・・・・・・

手順はおまかせしますが、最終日から見ても**全く面白くないのでご注意ください。**

※　なお、本編ではテロップによる言葉の補足はほとんどない上に録音環境が劣悪な部分もございます。ご了承の上ご理解の程、よろしくお願いいたします。

キャラクター紹介

重永 聡

身長	171cm
体重	65kg
血液型	O 型
誕生日	12 月 6 日
出身	山口県
本編の主人公。企画、演出も行う。 長編作品は不慣れなので苦戦した。 大目にみてください。	

武石 勉

身長	175cm
体重	55kg
血液型	O 型
誕生日	5 月 3 日
出身	新潟県
本編カメラマン。「私」を１週間以上家に泊めてくれた功労者。	

杉谷 侑亮

身長	174cm
体重	58kg
血液型	O 型
誕生日	12 月 26 日
出身	岡山県
本編の一部出演他、雑用諸々。	

樋口 輝仁

身長	168cm
体重	58kg
血液型	不明
誕生日	12 月 4 日
出身	滋賀県
先輩。本編の一部出演。	

小幡 靖貴

身長	
体重	
血液型	B 型
誕生日	3 月 15 日
出身	新潟県
カメラマン、だったが日程が合わずほとんど出番がなかった。	

その他にも多数の個性豊かな出演者が登場！
多くの方々のご協力でこの作品は成り立っています。
この場を借りて御礼申し上げます。

内径23mm
外径116mm
ベース色 白
オフセット印刷
シルク印刷
DIC-
DIC-
DIC-

制作者その他作品の紹介

この他にも4年間の学生生活の中で制作した作品を紹介します。

もしかしたらネットに落ちているかも・・・。

「京都学園大学 CM ソングプロジェクト」

国際ヒューマンコミュニケーション学科の
cm ソングの録音過程を追ったビデオ。
特に事件が勃発するでもなく、
CD の特典映像みたいな感じです。
そうなるように意識しました。
「国際ヒューマン ブログ」で検索すればあるかも。

「国際ヒューマンコミュニケーション告知 VTR」

女子学生がターゲットの学部らしいので
カメラ、エコ、恋愛、スイーツなど女の子が
好きそうなものを混ぜてみました。
出来は・・・
自分だけでも自分の作品は褒めるべきだと
思うので「オモシロイヨ」と言っときます。

「なりたい自分へ一歩」

かなり自信作です。
学内 CM コンペで特別賞をもらったやつです。
いろいろ皮肉ったメッセージを込めてたんですが
多分気付かれてないです。精進します。
メディア《つくる》工房のサイトで一部見れます。

「穴」

デジタル編集実習の課題です。
時間制限があったので変な音楽と映像を
入れれば誰かは食いつくだろうと思い作りました。
ネットに投稿したら、「ワッチミー！TV」で
何故かオススメ動画になってました。
同サイトで見れるかも知れません。

「game 1000」

1000 円以下のゲームをやる作品です。
「正しい遊び方」と称してフリスビーに
してみたり結構危ない作品です。
普通に怪我しそうだったので後半は普通に
スポーツをするなどいろいろ破綻してました。
ネット上に投稿してないので現在は見れません。
見ない方がいいです。

「学生応援 CM」
2009 年度学校紹介ビデオの一部です。
ベタなものがこの当時のマイブームだったので
いろいろ恥ずかしい台詞を出演者に言わせて
ました。内容は受験勉強に疲れた高校生を
仲の良い異性が励ましてくれる、というもの。
3部作で左の画像はローカル CM をイメージ
したものでした。DVD 未収録です。

ここに挙げた作品は基本的に映像をナメた作品が多いかもしれません。
その他にもいくつか作品はありますがあえてこのようなものをセレクトしました。
最後に、私の作品に関わった全ての方と本文を読んで下さった皆様に感謝します。
ありがとうございました。11